

図書館サイエンス夜話とは？

サイエンスカフェとはもともと科学者や技術者と市民が科学の話をするカフェのこと。1998年にイギリスで始まったとされています。現在では、特に飲食をする場でなくとも、語り手と聞き手が打ち解けた雰囲気の中で科学について語る場をサイエンスカフェといっています。

「図書館サイエンス夜話」は鶴舞中央図書館があいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの協力を得て開催するサイエンスカフェです。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、二夜にわたり開催いたします。皆様ふるってご参加ください。



名古屋市鶴舞中央図書館

名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
電話:052(741)9822

古紙パルプを含む再生紙を使用しています

第二夜

図書館サイエンス夜話 ブックリスト②



令和2年10月30日(金)
「巨大地震から地域を早期に復旧させる
ために考えておきたいこと」

名古屋大学減災連携研究センター特任教授
新井 伸夫氏

あいちサイエンスフェスティバル@つま

第二夜のブックリスト

★先生の著書★

低周波音 低い音の知られざる世界
土肥哲也／編著 コロナ社 2017

新井先生が一部執筆されています。地震を含む噴火、隕石など様々な自然現象で発生する低周波音の波動現象とその利用研究の動向について書かれています。

★過去の愛知の地震★

今もいきる、濃尾地震
中部建設協会 2011

明治24年に起きた濃尾地震120年の際にまとめられた記録集です。各地の震度の様子、被害の状況、写真などがまとめられています。

昭和19年 東南海地震
名古屋大学減災連携研究センター
2019

南海トラフで起きた最も直近の地震、昭和19年東南海地震の被害は甚大でしたが、戦時下の情報統制があり、報道が規制されたため、よく知られていない地震です。この地震について体系的にまとめられた本です。

配架場所や予約の方法など、わからないことがありましたら職員におたずねください。

★東南海地震について★

南海トラフ巨大地震 歴史・科学・社会
石橋克彦／著 岩波書店 2014

過去に何度も巨大地震を引き起こしている南海トラフ。その歴史的検証や科学的見地を通して、今後の地震の被害想定や社会構造への提言が著されています。

いま地震予知を問う
迫る南海トラフ巨大地震

横山裕道／編 化学同人 2014

欧米では地震予知は不可能と言われ、予知研究に対して研究費が出ないと言われていいます。この本はこれまでの地震予知研究についてまとめられているとともに予知の可能性について論じています。

★地震に備える★

あなたの街の地震ハザードマップ
各区版 名古屋市 2019

名古屋市ではハザードマップを作成し、定期的に更新しています。地震が起きた時に自宅付近にはどういった危険性があるのか知っておくことは命を守るため、避難をするために重要です。日ごろからチェックしておきましょう。

シニアのための防災手帖

三平洵／監修 産業編集センター
2019

シニアの方やその家族をターゲットとした自然災害対策をコンパクトにまとめた本。災害発生時、シニアの方特有の危険があります。

何が起きても命を守る防災減災BOOK
ゆうゆう編集部／編 主婦の友社 2016

防災のための準備から実際に災害が起きた時にどのような行動を取ったらよいのかをまとめてあります。場面や場合別に書かれているのでわかりやすく学ぶことができます。

★地震からの復興について★

復興の防災計画 巨大災害に向けて
牧紀男／著 鹿島出版会 2013

この本では、「防災」は「復興」を含めて論じるべきであると説いています。これまでの巨大自然災害において復興計画が果たした役割を述べ、生活再建に向けた事前復興計画策定の意義を提言しています。

震災ビッグデータ

阿部博史／編 NHK出版 2014

東日本大震災では多くの人的被害があり、交通麻痺などインフラや企業移転・移住など経済にも大きな影響がありました。このような震災による変化についての膨大なデータを可視化しています。